ヤクシマカワゴロモ生育地

【所　在　地】熊毛郡屋久島町（一湊川，白川）
【種　　別】国指定天然記念物（植物）
【指定年月日】平成２２年８月５日〈県指定については全域指定解除：平成22年９月10日〉

上流の生育地

ヤクシマカワゴロモ（拡大）

ヤクシマカワゴロモは，カワゴケソウ科カワゴロモ属に属する多年生の水生植物である。カワゴケソウ科植物は，熱帯から亜熱帯地方を中心に分布し，カワゴロモ属はインド以東のアジアに約10種が分布している。タイ・中国南部等に生育が知られているが，フィリピン・台湾には分布せず，日本では鹿児島県屋久島と大隅半島・宮崎県南部に４種が隔離分布している。この仲間の植物は，ほとんどが急流の水中に生育し，流水中に適応した特殊な形態に変化しているため，種子植物ではあるが，形態はコケ類・藻類のようである。根は平たい葉状体となり岩の表面に広がり，葉は小さな針状で，光合成は根から変化した葉状体で行っている。

ヤクシマカワゴロモは屋久島町の一湊川及び白川に生育する固有種で，九州本土の生育地が溶結凝灰岩の岩盤上であるのに対し，屋久島では花崗岩の河床礫上が生育地である。対象地域は上流部に白川山集落（人口約30人）があるだけで，周辺は上流域は国有林であり，下流域は草地やスギ植林地・二次林等であるため，良好な河川環境が維持されている。通常の植物とは異なった特異な形態を示し，隔離分布を示す学術的価値が高い植物で，他の生育地と異なる生育環境であり，貴重で良好な生育地である。